

自然と調和した、

ふれあい・安心安全・

住みよいまち」を目指して



町長 川和好野

施政方針

平成24年度は、町長に就任以来8回目の予算編成になります。2期目にお示しいたしましたマニフェストにつきましては、真摯に取り組むことができました。

これもひとえに議員各位のご協力と町民の皆様のご理解によるものと厚くお礼申し上げます。

平成23年度は、南小学校および伊奈中学校校舎の耐震化、丸山スポーツ広場テニスコートの改修、4月に開園した3つの私立認可保育園への助成、中学校卒業までの子どもの医療費の無料化、乳児のいる家庭を全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、子宮頸がん、ヒブおよび肺炎球菌ワクチン接種に係る費用の全額補助、ニューシャトル丸山駅へのエレベーター設置、町内循環バス「いなま

る」のリニューアル、いな穂街道拡幅のための用地買収、配水場配水池の耐震化、災害時の飲料水確保のための耐震性貯水槽の設置、化学消防ポンプ自動車の入替え、役場組織の機構改革、児童館を含めた総合センターの指定管理者制度の導入、放射線対策などに取り組んでまいりました。



リニューアルした「いなまる」

平成24年度を考えますと、ギリシヤに端を発した財政危機は欧州経済全体の信用不安にまで拡大し、ドルやユーロに対して空前の円高となつてしまい、製造業を中心に国内経済も明るい見

通しを持つことができない状況にあります。

町においても、住民生活に影響が出てくることが予想されますが、総合振興計画、行政改革実施改革プランに基づき、事業の見直しや効率化を図り、メリハリのある事業実施に取り組んでまいりたいと存じます。

また、福島第1原子力発電所の事故により、昨年から不安視されております放射能につきましては、引き続き、放射線量測定、学校給食などにおける放射性物質検査など町民の方々が安心して暮らせるよう必要な対策を積極的に講じてまいります。

伊奈町総合振興計画
後期基本計画に基づく
平成24年度の主な施策

心豊かな人と文化を育む

教育・文化面では、安心・

安全な教育環境整備のため、引き続き、第2期の伊奈中学校校舎耐震補強工事を実施し、町立の小中学校すべての耐震化を完了させることとしております。



校舎耐震補強工事を行う伊奈中学校

また教育活動の連携と円滑化を目的に、新たに教育センターを設置し、教育相談に係る業務の統合と拡充を図ります。

平成24年度は昭和57年のスポーツ都市宣言から30周年を迎える節目の年となりますので、講演会や参加型イベントを中心とした記念事業を行い、さらなるスポーツの振興と健康増進を図ります。

すこやかで心安らぐ
福祉を育む

健康・福祉面では、誰も

が安心して暮らせるよう町民と地域の福祉を担う団体および行政が支え合い、助け合うための総合的指針として地域福祉計画の策定に取り組んでまいります。

また、待機児童対策の一つとして家庭保育室保護者助成金の上限額の拡大や、中央保育所の耐震診断、ふれあい福祉センターで開始する心身障害児通園事業の準備など、さらなる子育て支援の充実に努めてまいります。

健康面では、発がん性ウイルスの感染や疾病の重症化の原因となる感染症を防ぐため、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンの接種に係る費用の全額補助を引き続き実施するとともに、新たに70歳以上の高齢者を対象とした高齢者肺炎球菌ワクチン接種に係る費用の一部の助成を行います。また、前立腺がん検診の対象年齢を拡大し、疾病の早期発見・早期治療に繋がるよう努めます。

さらに、町民ひとりひとりの健康の指針となる健康増進計画の策定に取り組んでまいります。

みどりつるおつ美しい
環境を育む

快適な生活環境のまちづくりを推進するため、原市沼調節池下の池2の底部の有効利用として芝張工事を随時実施してまいります。また、太陽光発電システム

の設置を奨励するための助成を行ない、CO2削減、創エネルギー・省エネルギー対策を進めます。交通基盤の整備では、誰もが利用しやすい環境整備として、引き続きいな穂街道等の町道整備を行い、また内宿駅、丸山駅に続き、羽貫駅のエレベーター設置に向けた基本設計を行います。



いな穂街道

生活基盤の整備としては、浄水場施設の耐震補強工事と耐震化を目的とした配水管布設置工事を引き続き実施してまいります。

市街地整備では、一般住

宅の耐震化促進のため、耐震診断および耐震改修向けの補助制度を新設します。消防面では、迅速かつ効果的な出動体制の強化を図るため、高機能消防指令センターの共同運用を前提として、機器の更新整備を上尾市と共同で行います。

防災面では、東日本大震災の教訓を活かした安心安全なまちづくりが極めて重要との認識に立ち、地域防災計画の見直しに着手します。また、役場、総合センターの耐震診断のほか、関係機関の協力のもと、防災備蓄倉庫を2基新設します。



地域防災計画の見直しに着手

さらに、放射能対策として、空間放射線量や学校給食などにおける放射性物質検査を継続し、必要な対策を実施してまいります。

暮らしと活力を支える
産業を育む

農業振興として、農道および用排水路の補修・整備に努めるとともに、営農意

欲のある農業者をはじめ農業後継者および生産団体の育成支援に取り組んでまいります。

商工業振興として、景気低迷の中、町商工会と連携しながら中小企業の経営の安定化を図ってまいります。

また、B級グルメ王決定戦や商工フェアなど、町を元気づけ活気づけるイベントの開催や、今や町の三大祭となっているさくらまつり、バラまつりおよび伊奈まつりなどのイベントの開催につきまして積極的支援をしてまいります。



昨年行われたB級グルメ王決定戦

いきいきとした参加型
社会を育む

引き続き人権啓発・男女共同参画の推進を図ります。住民参加といたしましては、町民と行政の協働で進めるまちづくりを推進するため、自主的・主体的な活

動について支援してまいります。また、町の情報発信手段として重要な役割を担う町ホームページについて、見やすく、親しみやすいホームページとなるよう、大幅なリニューアルを行ってまいります。

行政運営といたしましては、新たな総合振興計画の策定に向けて、まちづくりに対する町民の意向や要望などを把握するため、町民アンケート調査を実施します。また、新たにふれあい福祉センターに指定管理者制度を導入し、町の福祉の拠点とし、各種の事業に取り組んでまいります。

予算編成方針

国の平成24年度地方財政対策におきましては、地方税および国税収入が穏やかに回復することが見込まれる一方で、社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移することから、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれております。

町の財政状況につきまして、歳入の根幹をなす町税が、平成19年度をピークとして毎年減少する厳しい

歳入状況になっており、平成24年度においても、地方交付税の増加が見込まれるものの固定資産税の大幅な減少もあり、一般財源の増加が見込めない状況でございます。歳出におきましては、高齢化の進展や医療費の増大による社会保障関連経費の増や国民健康保険特別会計への一般会計繰出金の大幅な増額、また、子育て支援関連経費や今後の公共施設における耐震改修費や老朽施設改修費の増加など多額の財政需要が見込まれる状況にございます。また、高い水準にある借入金

の償還は町の将来の大きな負担となることが想定されます。こうした厳しい財政状況の中ではありますが、平成23年度へ一部事業の前倒しを行うなど、平成24年度予算と一体となった切れ目ない執行に配慮したほか、財源不足を補うため、地方債や財政調整基金等を活用するなど、選択と集中によりまして平成24年度予算を編成いたしました。

予算の詳細については次ページ以降へ